



アブラムシ類

コナジラミ類



# アドマイヤ<sup>®</sup>

## 1粒剤

幅広い適用作物と優れた残効性。  
定植時の植穴処理。  
少ない薬量で長い効き目!!

- 浸透移行性に優れ、長期間主要害虫を防除します。
- 防除回数を減らせるので省力化が図れます。
- 速効的に作用し、ウィルス病を予防します。



## ■適用害虫および使用方法

作物名 [ ]は 適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数*	使用方法	イミダクロプロチドを 含む農薬の 総使用回数*
稻	ツマグロヨコバイ ウンカ類	3kg/10a	収穫7日前 まで	2回	散 布	3回(種もみへの処理 または移植時までの処理 は1回、本田での散布 は2回)
かんきつ 〔苗木〕	ミカンハモグリガ	20g/樹 (但し、6kg/10aまで)	育苗期	1回	株元散布	—
れんこん	イネネクイハムシ	3kg /10a	植付時		植溝土壤混和	3回(植付時の土壤混和 は1回、植付後は2回)
	クワイクビレアラムシ	4kg /10a	収穫14日前まで	2回	散 布	作業土壤混和 全面土壤混和
かんしょ	コガネムシ類	4~6kg/10a 6kg/10a	植付前		植溝土壤混和	3回(植付時の土壤混和 は1回、散布は2回)
さといも さといも(葉柄) ばれいじょ		4kg /10a	植付時		植溝土壤混和	3回(植付時の土壤混和 は1回、散布は2回)
豆類 〔稭実、ただし、 だいすくを除く〕		3kg /10a	は種時		播種土壤混和	3回
だいすく		セル成型 育苗トレイ・播種用トレー(30×60cm、使用土壤、約1.5~40)当り50g			本剤の所定量をセル成型 育苗トレイまたはベーパーボートの培土 に均一に混和する	
豆類(未成熟、ただ し、えだまめ、さや いんげん、未成熟 そらまめを除く)	アラムシ類	2g/植穴 (但し、6kg/10aまで)	定植時		植穴土壤混和	
えだまめ		3kg /10a	は種時		播種土壤混和	
さやいんげん		2g/植穴(但し、8kg/10aまで)	定植時		植穴土壤混和	
未成熟そらまめ		3kg /10a	は種時		播種土壤混和	
きゅうり	アラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	1 ~ 2g/株	定植時	1回	本剤の所定量をセル成型 育苗トレイまたはベーパーボートの培土 に均一に混和する	3回(定植時および 播種土壤混和は合計1回、散布は2回)
すいか	アブフムン類 アザミウマ類	5g/株(但し、3kg/10aまで) 1~5g/株(但し、3kg/10aまで) 1~2g/株(但し、3kg/10aまで)			植穴土壤混和 播種土壤混和 株元散布	4回(定植時の土壤混和 は1回、散布は3回)
メロン	アラムシ類 アザミウマ類 コナジラミ類	1 ~ 2g/株	定植時		植穴土壤混和 株元土壤混和	4回(育苗期の株元散布お よび定植時の土壤混和は合 計1回、散布おひこ常温煙霧は合計3回)
かぼちゃ	コナジラミ類 アザミウマ類	2g/株			植穴土壤混和 株元土壤混和	4回(定植時の土壤混和 は1回、散布は3回)
にがうり	アラムシ類	1 ~ 2g/株	定植時		株元散布	4回(育苗期の株元散布お よび定植時の土壤混和は合 計1回、散布は3回)
まくわうり		1g/株			植穴土壤混和 株元土壤混和	1回
ズッキーニ	アザミウマ類 コナジラミ類	2g/株			植穴土壤混和 株元土壤混和	4回(定植時の土壤混和 は1回、散布は3回)
トマト ミニトマト	コナジラミ類 アラムシ類 コナジラミ類	0.5 ~ 1g/株			株元散布	3回(育苗期の株元散布お よび定植時の土壤混和は合 計1回、散布は2回)
ピーマン とうがらし類	アラムシ類 アザミウマ類	1 ~ 2g/株	定植時		植穴土壤混和 株元散布	3回(育苗期の株元散布お よび定植時の土壤混和は合 計1回、散布は2回)
なす	アラムシ類 アラムシ類 アザミウマ類	1 ~ 2g/株	定植時		植穴土壤混和 株元散布	3回(育苗期の株元散布お よび定植時の土壤混和は合 計1回、散布は2回)
にら	アザミウマ類	4kg /10a	育苗期後半		植穴土壤混和 株元散布	3回(育苗期の株元散布お よび定植時の土壤混和は合 計1回、散布は2回)

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

■注意事項

- 蚕に対して長期間毒性があるので、絶対に桑葉にかからないようにすること。  

  - ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。本剤の作物への処理後、ミツバチの防花活動に影響を及ぼす恐れがあるのを注意すること。  

  - 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。  

  - さくらニナミキヨリアザミウマに使用する場合、生育期後半に使用すると効果が不十分になる場合があるので生育期前半に使用すること。
  - 本剤をだいこんに使用する場合、茎引き菜又はつまみ菜として食用には供さないこと。
  - トマト、ミニトマト、なす、ビーマン、とうがらし、メロンの育苗期後半に使用する場合は、直徑9cm以上のボウトで育苗した苗に使用することとし、それ以外での使用は害葉を生じる恐れがあるので避けること。
  - かんきつに使用する場合には、今期に収穫の見込みのない苗木に使用し、散布後灌水すること。効果発現が遅れることがあるため、対象害虫発生前に使用すること。
  - 本剤を稻及びれんこんに散布で使用する場合には、湛水状態で均一に散布し、散布後少なくとも7日間はそのまま湛水状態を保ち、湛水、かがれ混じしないこと。

作物名 〔 〕は 適用場所	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤 の 使用回数*	イミダクロプロドを 含む農薬の 総使用回数*
わけざ あさつき ねぎ	アザミウマ類 アブラムシ類 ナバナ類	4kg/10a 0.5g/株	定植時	1回	3回(定植時の土壤混和は1回、散布は2回)
はくさい					3回(定植までの処理は1回、散布は2回)
キャベツ					3回(育苗期の灌注および定植時の土壤混和は合計1回、散布は2回)
ごぼう		4kg/10a 3~6kg/10a	は種時	2回	播溝土壤混和
だいこん			収穫7日前まで		3回(は種時の土壤混和は1回、は種後は2回)
ほうれんそう かぶ		4kg/10a	は種時	2回	3回(は種時の土壤混和は1回、散布は2回)
非結球あらぶ な科葉菜類		3~6kg/10a			2回(は種時の土壤混和は1回)
なばな類		3~6kg/10a			なばなはばな(は種時の土壤混和は1回)、なばな以外のなばな類は1回
ブロッコリー		0.5g/株	定植時	1回	4回(育苗期の灌注は1回、定植時の土壤混和は1回、散布は2回)
レタス			育苗期後半		3回(育苗期の処理は1回、散布は2回)
いちご			定植時	1回	1回
バセリ	アザミウマ類 アブラムシ類	3kg/10a	は種時 収穫14日前まで		播穴土壤混和 株元散布 株元散布
こんにゃく	アブラムシ類	3~6kg/10a	培土時 (基根伸長期)	2回	株元土壤混和
やまのいも	アブラムシ類 コガネムシ類	4kg/10a	生育期 収穫21日前まで		3回(培土時の土壤混和は1回、散布は2回)
やまのいも (むかご)	コガネムシ類		植付時	1回	3回(植付時の土壤混和は1回、散布は2回)
じゅんさい (じゅんさい畠)	ユスリカ類	3kg/10a	収穫前日まで		1回
たばこ	アブラムシ類 花き類・観葉植物 (き、ばら、ペチュニア、レザーファンを除く)	3kg/10a (1g/株)	植付時	1回	散 布
樹木類 (つづき類を除く)		2g/株(但し、 6kg/10aまで)	植付時		植穴土壤混和
つつじ類		2g/株(但し、 6kg/10aまで)	生育期	5回	2回(植付時の土壤混和は1回、散布は1回)
きく	アザミウマ類	3kg/10a	5回	散 布	2回
ペチュニア	アブラムシ類	2g/株(但し、 6kg/10aまで)		株元散布	5回(株元灌注は2回、土壤混和は2回)
レザーファン	アザミウマ類	1g/株(但し、 3kg/10aまで)	5回	植穴土壤混和 株元土壤混和	5回
ポイントセチア	アブラムシ類	2g/株(但し、 6kg/10aまで)		株元散布	株元土壤混和
ばら	コナジラミ類	1g/株(但し、 3kg/10aまで)		株元散布	株元散布
	イバヒグナガアブラム シ(ハイニンニク)	2g/株(但し、 6kg/10aまで)			

- だいすきびえだまめの育苗培土に混和処理する場合には、処理後速やかに使用すること。また本剤を処理した育苗培土を放置しないこと。
  - 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
  - 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉菜の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
  - 取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐きださせ、直ちに医師の手当を受けること。本剤を使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。



- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のないものが使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意をはかること。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

## バイエルクロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 [www.bayercropscience.co.jp](http://www.bayercropscience.co.jp)

お客様相談室 **0120-575-078** 9:00~12:00, 13:00~17:00  
土・日・祝日を除く

(F-1021.15.12.IS)